

令和5年度 第2回 富山県公共事業評価委員会の概要

- 1 日時 令和5年10月16日(月) 9:00~12:00
- 2 場所 [審議] 県庁4階大会議室
[現地視察] あいの風とやま鉄道線等(富山市明輪町~曙町)
主要地方道高岡環状線(高岡市上伏間江~佐野)
- 3 出席者 中村委員(会長)、大藤委員、近藤委員、星川委員、堀内委員、山口委員、吉川委員
- 4 審議内容(重点審議対象箇所について、パワーポイントで説明)
【土木部事業】(金谷次長) 重点審議対象2件

5 現地視察 【質疑応答】

○あいの風とやま鉄道線等(富山市明輪町~曙町)

(委員)

- ・近接する営業線への安全運行対策(夜間施工等)が必要となることは計画当初から想定され得る事案ではなかったのか。
⇒事業着手に向けた鉄道事業者との協議により初めて提示されたものであった。

(委員)

- ・新幹線と在来線が並走する駅周辺路線は他県においても同様の事例が想定されるが、先行県の事例などの調査は行わなかったのか。
⇒営業中の新幹線に並行して私鉄を高架化する先行事例は全国的にも無く、参考とできる事例は無かった。

(委員)

- ・地盤状態が想定外とのことだが、先行して新幹線の整備が行われているため地質調査結果などはJR等から提供してもらい、参考としていたのではないのか。
⇒新幹線整備時の調査結果は共有いただいたが、近接していても実際の整備箇所を調査してみると地盤の状況は異なっている場合がある。

○主要地方道 高岡環状線(高岡市上伏間江~佐野)

(委員)

- ・作業員の確保状況等はどうか。
⇒現在のところ作業員も確保できており、順調に進んでいる。

(委員)

- ・高架橋の除雪作業で配慮すべきことはあるか。
⇒高架橋のランプ部は坂道となっているため凍結への注意が必要。

(以上)